

第247回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和3年4月28日(水) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室
3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員長	小松豊
副委員長	そのだつくし
委員	高橋惣兵衛
委員	佐竹雅之
委員	和田俊文
委員	石川健正
委員	樋口知志
委員	舟橋宏太

欠席委員数 0名

会社側出席者名

代表取締役社長 畠山大

取締役 メディアビジネス推進本部長
三浦茂樹

報道制作局 岸英利
事務局長 小原洋
事務局 波岡功

4. 議 題

(1) あいさつ

(2) 5月単発・3月視聴率・3月視聴者応答記録

(3) 合評課題について

合評課題：テレメンタリー 3.11を忘れない82
揺らぐてんでんこ～それでも逃げて～

放送日時：令和3年3月2日（火）26：00～26：30
令和3年3月7日（日）11：20～11：50

(4) 次回開催について

日 時：令和3年5月26日（水）午前11時～

場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室

合評課題：「スーパーJチャンネルいわて」～新年度からリニューアル

放送日時：令和3年4月8日、5月7日、10日（各18：15～18：40）

(5) その他

5. 概 要

「地震が起きたら他人に構わず、てんでんばらばらに逃げなさい」という三陸に伝わる教え「津波てんでんこ」。中学生だった10年前、その教えを守って命をつなぎ、釜石市で語り部となった女性を軸に、当時の人々の避難行動を検証し、それぞれの決断や選択、その後の人生を通じて避難することの意味を考える内容でした。

・逃げて助かった人、妻や夫を失った人々、逃げる途中で他人を助けて死にそうになった人。立場や状況の異なる4人を登場させて、それぞれの葛藤や心情の変化について、『逃げる』という言葉を通してうまく描くことができた。

・「釜石の奇跡」というメディアがつくった言葉に翻弄されタふたりには、その後、お互いに軋轢もあったが、番組で対面させて、わだかまりを解かせるシーンにはメディアの力を感じさせた。

・語り部となった女性の言葉をもっと掘り下げ、視聴者の背中を押して考えさせるような仕組みを番組の中につくっていたらもっとよかった。